第１号議案

平成30年度事業報告及び収支決算報告の承認を求める件

平成30年度　事業報告書　平成30年４月１日～平成31年３月31日まで

特定非営利活動法人

空堀川に清流を取り戻す会

１．事業実施のあらまし

１．特定非営利活動事業

H30年５月12日の第19回定期総会において審議された上で確定した事業計画を具体化するために、理事の役割分担に基づいて事業に当たった。

「子どもの水辺」区間の維持管理

H21年３月東京都北多摩北部建設事務所と取り交わした「覚書」に基づき、日常清掃・草刈り及び木本植物の手入れ、資機材置場・堆肥作成施設及びポンプ関連の維持管理、在来植物の調査を行った。H30年４月３日に井戸端前の生き物調査を実施した。一中科学部と三中自然探求部の生徒15名、先生３名、釣りのプロ１名、会員11名と飛び入りのベトナム日本語学区生徒２名 合計32名が参加した。コイっ子３匹,フナ５匹,オイカワ７匹,モツゴ10匹,クロメダカ50匹,マドジョウ４匹,スジエビ100匹,ヤゴ（シオカラ）１頭,（ヤンマ）１頭,ウシガエル２匹,同オタマジャクシ３匹を捕獲した。６月には河川敷の草刈りの事前立会い、９月にはハマナスの種子を採取し苗木の増殖を試みた。周年にわたりジャーマンアイリスの手入れを実施した。

環境学習支援

東村山市内の小・中学校と連携して野外体験学習の支援を行った。

５月27日　空堀川・川まつり」で三中、七中の生徒が催し物の手伝いなどボランティアをしてくれてヨーヨーの現金授受,カヌー遊びの補助やゴミ分別など貴重な体験をした。

５月29日　南台小学校でヤゴ救出作戦。３年生60名。先生３名、当会より８名協力。アカネ系69頭以上、シオカラトンボ12頭、ギンヤンマ262頭、イトトンボは見つからなかった。捕獲したヤゴは校内のミニたんぼに放流、一部は家で飼育するため生徒が持ち帰った。

川まつり

H30年５月27日、当会が主体となって第20回空堀川・川まつりを開催した。今回もお祭り日和に恵まれ、老若男女約2000名という大勢の参加を得てにぎやかな川まつりとなった。今回は、第20回記念抽選会を行った。自転車２台、出展出店の交換券など特等賞～4等賞まで27家族が当選した。また、第二会場では、前回同様に消防署による救急救命の訓練講習、災害救助犬の訓練展示、防災隊の放水訓練、カヌー安全教室とワンドのガサガサが行われ、新規に緊急食糧配布訓練とコンサートがあり、参加者延べ800名で大いに賑わった。今回も前回以上に水量が少なかったので次回が心配である。

クリーンアップ

第42回はH30年４月21日に実施。第一会場（上流部）では市民、企業などから43名が参加。燃やせるゴミ23袋、燃やせないゴミ３袋、ビン・カン１袋、ペットボトル１袋、粗大ゴミ布団、プラケース等。２トン車１台。今回は、集会場が借りられなかったので、屋外でトン汁。

第二会場（下流部）は 、市民、企業、行政で55名。燃やせるゴミ32袋、燃やせないゴミ６袋、ビン・カン４袋、ペットボトル３袋。他には、自転車リム、傘など。処理困難物は、バッテリー。

第43回は11月17日に実施。第一会場（上流部）は参加者39名。燃やせるゴミ35袋、燃やせないゴミ5袋、ビン・カン4袋、・ペットボトル4袋。他にマット、大型土嚢、自転車2台など。
第二会場（下流部）は参加者40名。従来通り事前クリーンアップを行った。燃やせるゴミ28袋、燃やせないゴミ6袋、ビン・カン2袋、・ペットボトル3袋。他に消化器2個、自転車ほか。野口橋下流に大量のゴミがあった。
また、日常的に川・管理通路の清掃を行った。

水量・水質調査

今年はH30年6月2日に「身近な川の一斉調査」を行った。調査地点は例年通り上流の上橋から大沼田橋まで市内流域7ヶ所。今回も昨年同様に上流部上橋と浄水橋の2カ所と御成橋の3カ所のみの測定であった。上橋・浄水橋の流量は、昨年の1/10以下であった。御成橋もやっと流量が測れる程度。何とかしないと、東村山市内の空堀川は完全に水無川となってしまう。

放射線量測定

春と秋のクリーンアップ及び5月の川まつり前に放射線量の測定を行った。(4月19日,5月21日,11月13日)

白子川源流まつり見学

平30年10月28日に見学した。

水量確保のための活動

「柳瀬川・空堀川流域連絡会」の第8期がH30年8月24日に終了した。第8期では、流量確保の方策を提案したが、残念ながら思わしい成果は得られなかった。第9期は、新委員の公募後11月14日にスタートし、第9期第2回は12月17日に現地見学会、第3回はH31年2月13日に実施された
空堀川の最大の水源である森永乳業の工場見学にH30年9月26日参加した。

空堀川環境整備計画実現のための関係機関との協働

「柳瀬川・空堀川流域連絡会」H31年2月13日で、空堀川の立木の伐採・抜根を行いたいとの説明があり、根が洗われて流木化している、護岸に悪影響、通行支障の木については伐採・伐根したいと説明があった。当会では、流木化と通行支障は致し方ないとしても、護岸悪影響については問題があるので中止を申し入れたが、なかよし橋～曙橋の河川内樹木は30年度中にほとんど伐採・抜根されてしまった。
H31年3月13日に北北建と現地で打合せ、水が入らなくなっている井戸端のワンドの代わりに浄水橋上流のワンドの上流側に新しいワンドを作る方向で検討するとの説明があった。

内野吉之助みどりの基金事業

今年度は、管理通路にチューリップ・ジャーマンアイリスの植栽を行った。

普及啓発活動事業

1　会報「からぼり川」を4回発行した。(第93号～96号)。
2　環境フェア　東村山市主催の第2回環境フェア(H30.12月18日～23日)に出展し、空堀川の現状と問題点、図書・魚の展示を行った。市民団体は、当会と東村山エナジー、北川かっぱの会とガイウェイ東村山だった。
3　「空堀川公開勉強会」をH30年4月14日に第4回、10月13日に第5回として実施した。第5回は、社会福祉協力員と協働で開催。
4　多摩六都科学館で開催した「地域の自然とそれを支える人々の関わり」をテーマとした企画展「たまろく水辺の案内所」(H30年3月17日～5月6日）に協力、4月14日には平田理事が「みずべのお話会」で「空堀川について」のテーマでお話しした。
5　地域活動として、次の様な活動を行った。青葉町夏まつりと連携して、H30年8月25日に御成橋のワンドでカイボリ・生き物観察を行い、大勢の子供達の参加があった。アリアケギバチを発見。
6　久米川町長寿を祝う会で、当会の活動をPRした。
7　当会のホームページをリニューアルした。(完了日はH31年4月1日)
8　東大和で「ひがしやまと空堀川・川まつり」が、初めて実施され当会が協力。(H30年10月13日)

9　東村山小彼岸桜の会の協力で、馬頭橋下流右岸の小彼岸桜21本を剪定した。(H31年2月23日)

10　空堀川・柳瀬川合流点の見学会をし、河川工事後の水量や河畔林の実態調査を行った。(H31年3月27日)

その他の活動

特になし。

2．収益事業

東村山市まちづくり部から2件の契約を受注した。1件は「下堀・ふれあい広苑の植込み手入れ作業」で、6月、8月、10月の3回に分けて実施した。2件目は「第3仲よし広場の清掃作業」で、3名編成で実施した。この2件の契約を履行し、所定の法人税、事業税、法人都民税、市民税を納付し、余剰金を本来事業会計に繰り入れた。

2.事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
実践活動事業	子どもの水辺の維持管理	4月～翌年3月	WAKUWAKU広場	延べ50人	流域約10万人	99
〃	環境学習支援	5月～6月		延べ20人	延べ200名	0
〃	川まつりへの参加	5月27日		20名	市内住民約2千5百人	10
〃	クリーンアップ作戦	4月、11月	上橋～大沼田橋　市内7ヶ所	150名	流域約10万人	10
〃	水量・水質調査	世界環境デー 6月	市内7カ所	4名	流域約10万人	0
普及啓発活動事業	会報の発行・ホームページ維持管理	年4回	会員及び地域公共施設	延べ30名	流域約10万人	83
	環境フェア出展	12月18～23日	中央公民館	延べ20名	流域約10万人	0
〃	空堀川公開勉強会	4月 10月	東村山市地域福祉センター	延べ30名	約10万人	2
収益事業	公苑整備	6月～10月	下堀・ふれあい広苑	述べ76人	流域約3万人	892
諸経費	上記事業に係わる経費	平成30年度				68
						1,164

事業総支出額　1,164千円

平成30年度（第20期）「特定非営利活動事業に係わる」会計 収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

科　　目	金　　額(単位:円)		
Ⅰ 収入の部		小計	合計
1会費・入会金収入			
会費収入	130,000		
入会金収入(2名)	4,000		
		134,000	
2 助成金			
東京都公園協会	20,000		
		20,000	
3寄付金収入			
会員等寄付金	2,000		
内野吉之助みどりの基金事業	0		
		2,000	
4事業収入			
下堀・ふれあい広苑受託(収益事業)	621,650		
第3仲よし広場受託(収益事業)	271,058		
		892,708	
5その他収入			
利息収入	2	2	
6収益事業会計からの繰入金	58,904		
		58,904	
当期収入合計(A)			1,107,614

科　　目	金額(単位:円)		
Ⅱ　支出の部		小計	合計
1事業費			
実践活動事業費			
川まつり事業費	10,000		
クリーンアップ事業費	10,291		
子どもの水辺維持管理費	98,915	119,206	
普及啓発活動事業費			
会報の発行・ホームページ維持管理	83,068		
空堀川勉強会	1,637	84,705	
収益事業費			
事業費	728,704		
法人税等充当金	105,100		
特定非営利活動に関わる会計への繰り越し金	58,904	892,708	
2.管理費			
印刷製本費	1,800		
通信費	12,140		
消耗品費	1,404		
会議費	5,698		
委託費	40,000		
損害保険料	4,500		
諸会費	2,000		
雑費	540	68,082	
当期支出合計(B)			1,164,701
差引収支額((A)-(B)			-57,087
前期繰越収支差額(C)			578,494
次期繰越収支差額(A)-(B)＋(C)			521,407

平成30年度（第20期）「特定非営利活動事業に係わる」貸借対照表

平成31年3月31日現在　　特定非営利活動法人　空堀川に清流を取り戻す会

科　　目	金　　額（単位:円）		
Ⅰ　資産の部		小計	合計
1　流動資産			
現金貯金	470,837		
未収入金①繰入金	53,570		
未収入金②収益事業（市から）	203,670		
短期貸付金	45,000		
流動資産合計		773,077	
2　固定資産			
什器備品	0		
固定資産合計		0	
資産合計			773,077
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
借受金	48,000		
短期借入金	45,000		
未払金①法人税等	105,100		
未払金②繰り出し金（収益事業より）	53,570		
流動負債合計		251,670	
2　固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			251,670
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産		578,494	
当期正味財産増加額		-57,087	
正味財産合計			521,407
負債及び正味財産合計額			773,077

平成30年度（第20期）「特定非営利活動事業に係わる」財産目録

平成31年3月31日現在　　特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

科　　目	金　　額（単位：円）		
Ⅰ　資産の部		小計	合計
1　流動資産			
現金預金			
現金	139,605		
郵便貯金	234,266		
普通預金　三菱ＵＦＪ銀行			
久米川支店	49,130		
普通預金　三菱ＵＦＪ銀行			
久米川支店内野吉之助みどりの基金	47,836		
普通預金　収益事業会計	0		
未収入金①繰入金	53,570		
未収入金②収益事業	203,670		
短期貸付金	45,000		
流動資産合計		773,077	
2　固定資産			
什器備品	0		
固定資産合計		0	
資産合計			773,077
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
借受金	48,000		
短期借入金	45,000		
未払金①法人税等	105,100		
未払金②繰り出し金	53,570		
流動負債合計		251,670	
2　固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			251,670
正味財産			521,407
負債及び正味財産			773,077

書式第１３号

平成29年度～30年度　役員名簿及び
名簿のうち前年度において報酬を受けたことがある者の名簿
（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

特定非営利活動法人　空堀川に清流を取り戻す会

役　名	氏　　名	住所または居所	就任期間	報酬を受た期間
理事	友保邦弘	[redacted]	平成30年4月1日 平成31年3月31日	なし
〃	岡田一郎		〃	なし
〃	原田秀二		〃	なし
〃	垂水荘司		〃	なし
〃	分部光春		〃	なし
〃	内堀光朗		〃	なし
〃	平田健一		〃	なし
〃	石井　昭		〃	なし
監事	小倉安洋	[redacted]	平成30年4月1日 平成31年3月31日	なし
〃	安藤栄子		〃	なし

書式第３号（法第２９号関係）

社員のうち１０人以上の者の名簿

特定非営利活動法人　空堀川に清流を取り戻す会

	氏　　名	住所または居所
1	小林寛治	[redacted]
2	島崎よう子	
3	有川栄子	
4	高橋朝子	
5	友保邦弘	
6	安岡建依	
7	岡田一郎	
8	平田健一	
9	小倉安洋	
１０	垂水荘司	
１１	原田秀二	
１２	石井　昭	

第2号議案

平成30年度会計監査報告の承認を求める件

特定非営利活動法人　宝塚川に清流を取り戻す会

理事長　友保　邦弘　様

監査報告書

令和元年5月 8 日

定款第４８条に基づき、特定非営利活動法人　宝塚川に清流を取り戻す会　の平成３０年度の事業報告書、収支計算書、貸借対照表、財産目録、について、監査した結果、正確かつ適正であることを確認いたしましたのでここにご報告申し上げます。

特定非営利活動法人　宝塚川に清流を取り戻す会
監事

小倉安津 [redacted]

安藤栄子 [redacted]